

令和元年度執行事務事業

施策名	基本事業	番号	事務事業名
快適で質の高い 住環境の整備	雨水排水路の整備	1	馬門町地内水路改修事業
		2	田沼本町地区排水路改修事業
		3	田沼地区地域排水整備事業
		4	市道道路冠水対策事業
		5	公共下水道雨水幹線整備事業
		6	一般排水路整備事業
		7	一般排水路清掃支援事業

事務事業名		馬門町地内水路改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	黒田 英文
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11278	一般	8	3	1	馬門町地内水路改修事業					
	事業区分		事業区分		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H28年度～ R1年度		根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例		任意的事業・義務的事業		任意的事業	
	実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		実施方法		一部委託		
	市長市政公約		該当なし		該当なし		事業分類		施設等整備事業		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
・馬門町地内水路は上下流が整備され、未整備となっている区間において頻発している浸水等の水害を解消するために、流下断面を大きくする水路改修工事を実施する。 水路改修延長: 790m U型水路 1400×800 L=498m 1400×1400 L=49m 1100×1300 L=84m Boxカルハート 1400×1200 L=9m 1100×1100 L=150m 総事業費 183,477千円					(H30繰越) U型水路布設工 L=158m (R1現年) 舗装復旧工事 As舗装 A=632㎡ 区画線設置 1式						
活動指標					単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
水路改修が済んだ水路延長					m	528.1	633.4	791.4			
今年度の河川改修延長					m	150.7	105.3	158.0			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
馬門町地内水路					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
水路の改修計画延長					m	791.4	791.4	791.4			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
馬門町地内水路の現況河道を拡幅する水路改修工事により、台風や集中豪雨による出水に対して水害のない水路にする。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
馬門町地内水路の整備率					%	66.7	80.0	100.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)					%	58.6	59.9	60.5			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	31,178	15,892	33,155					
	事業費計(A)	千円	31,178	15,892	33,155	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			11.需用費	201	11.需用費	194	11.需用費	204		
			12.役務費	19	12.役務費	47	12.役務費	47		
13.委託料			2,149	14.使用料及び賃借料	24	14.使用料及び賃借料	10			
14.使用料及び賃借料			96	15.工事請負費	15,620	15.工事請負費	32,887			
15.工事請負費			26,266	27.公課費	7	27.公課費	7			
17.公有財産購入費			1,289							
22.補償・補填及び賠償金	1,158									
正職員従事人数	人	4	4	4						
のべ業務時間	時間	957	957	957						
人件費計(B)	千円	3,652	3,657	3,651	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	34,830	19,549	36,806	0	0				

事務事業名	馬門町地内水路改修事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	区域のすぐ上流は佐野南部土地区画整理事業により水路整備が完了しており、宅地化の急激な進行により現況水路の流下能力を超えた雨水の流出を招いて度々氾濫を起こしている。さらに、東部6号雨水幹線改修事業により下流部の拡幅改修が行われたことから、本区間の改修が強く求められている。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	本河川の上流に位置する佐野南部土地区画整理事業区域の宅地化が急激に進んでいることから、未改修河川の氾濫頻度が増えている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年度議会(6月議会)において質問があり、流末の整備(東部6号雨水幹線)の状況を見ながら改修工事を実施していくと回答している。 大雨の度にパトロールを実施し、年に数回は道路冠水となるため通行止めとなり、市民からいつまでたっても改善されないと言われる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	水路改修工事により水害が防止でき、市民の生命財産を災害(火災、地震、水害、土砂災害等)から守ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	水路の水害を防止し、市民の生命財産を守ることは、河川管理者の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	河川管理者として、水害を防止する目的で水路の改修事業を実施していくものであり対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	この事業は令和元年度に舗装の復旧工事を予定しており、水路本体は平成30年度に完成しているため、事業の目的はほぼ達成している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最低限度の人員配置で実施するもので、人件費削減の余地は無い。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本事業は水路そのものが原因となる水害を未然に防止するための事業で、特定の受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	水路の整備L=791.4mが完了したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		田沼地区地域排水整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	黒田 英文
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11281	一般	8	3	1	田沼地区地域排水整備事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業						
	事業区分		任意的事業・義務的事業		任意的事業						
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H27年度～ R4年度		根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例					
	事業区分		実施方法		一部委託						
	事業区分		事業分類		施設等整備事業						
	事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし						
事業区分		市長市政公約		該当なし							

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
栃木県より、田沼地区の雨水による冠水被害を低減するために、排水路の断面拡張整備が実施される。市は県との負担協議により、田沼地区の雨水を排水するため、応分の負担をすることによる必要な排水路を整備する。 排水路整備工事 県道部分(両側) 740m×2=1,480m 市道部分 230m 調整池 1箇所 合計 1,710m 全体事業費1,230,000千円 (内協定内523,000千円) (市負担金328,500千円)						調整池導水管及び県道部分の排水路整備の負担金 (導水管 1100×1100 L=230m 排水路1200×1200 L=230m)						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
水路を整備した延長						m	160	460	280	350	140	
整備済の水路延長						m	340	800	1,080	1,430	1,570	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
田沼市街地の雨水を菊沢川に放流するための水路						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
排水路計画延長						m	1,710	1,710	1,710	1,710	1,710	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
雨水排水路を整備して内水を速やかに河川に排水することにより、田沼市街地の冠水を低減する。						成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
排水路の整備率						%	19.9	46.8	63.2	83.6	91.8	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
住環境の安全性を高めるための、雨水排水路の整備を推進する。						上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
雨水幹線排水路の整備率 (整備済延長/計画総延長)						%	58.6	59.9	60.5	62.8	64.7	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	11,000		59,250		28,660		29,400		28,050	
	事業費計(A)	千円	11,000		59,250		28,660		29,400		28,050	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費								
			19.負担金、補助及び交付金	11,000	19.負担金、補助及び交付金	59,250	19.負担金、補助及び交付金	28,660	18.負担金、補助及び交付金	29,400	18.負担金、補助及び交付金	28,050
人件	人	3		3		3		3		3		
のべ業務時間	時間	333		333		333		333		333		
人件費計(B)	千円	1,271		1,272		1,270		1,270		1,270		
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,271		60,522		29,930		30,670		29,320		

事務事業名	田沼地区地域排水整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	田沼市街地を通る一般県道佐野田沼線が、豪雨のたびに下町交差点付近において冠水し、市民に多大な不便をかけている。これを解消すべく地域に流入する雨水を低減するため平成27年度より排水路の整備を行う。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	最近の天候不順により道路冠水が頻発しており、市街地の浸水対策が急がれている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	大雨のたびにパトロールを実施し、年に数回は道路冠水や床下浸水となり、市民からいつまでたっても改善されないと苦情を言われる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	この事業の目的は市街地への雨水の流入を低減するものであり、これにより住みやすい快適なまちづくりが達成できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	自然現象である雨水を市街地より排除し、冠水や浸水のない住みやすい快適なまちづくりをすることは行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市街地が冠水する原因の1つである、下流部の側溝能力の不足を解消することにより、すみやすい快適なまちづくりを推進する。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	計画された水路の改修をより早く進めることで、目的が達成され、住みやすい快適なまちづくりが推進できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県や地元住民との連絡・調整に係る最小限度の人件費を計上したもので、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	雨の自然現象であり、これによる災害を防止することは行政の責務であり、受益者負担を求める必要は無い。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	計画排水路の整備が完了することにより、本事業は終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	事業の進捗を図るためには、事業費の増加が必須であり、事業の選択と集中が必要である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		市道道路冠水対策事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	道路建設係	担当課長名	黒田 英文	
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11093	一般	8	2	3	市道道路冠水対策事業					
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H30年度～R4年度		根拠法令 条例等	下水道法					
							事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
								任意的事業・義務的事业		任意的事業	
								実施方法		一部委託	
								事業分類		施設等整備事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
								市長市政公約		該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
下水道課では現在「公共下水道雨水幹線整備事業」として、東部6号雨水幹線等の整備を進めているが、その雨水幹線に導く側溝等が整備されていない箇所では道路冠水や浸水被害が生じている。 本事業は、下水道課で実施している雨水幹線の整備ならびに整備が完了した排水区域内において、雨水排水計画と整合を図った、道路排水を兼ねた側溝等を整備することで、道路冠水や浸水被害の軽減を図ることを目的とする。 全体事業費 C=83,000千円 整備延長 L=619m					道路詳細設計業務委託 L=619m(令和2年度へ繰越)						
活動指標					単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)	
工事延長					m				245	229	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
道路側溝整備延長					対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
整備延長					m				245	229	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
住環境の安全性を高めるための、道路側溝等の整備を推進する。					成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
整備率(事業費ベース)					%	0	0	0	45.9	72.4	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
雨水排水路の整備と連携し整備を行う事で住環境の安全性を高める					上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)					%	58.6	59.9	60.5	62.8	64.7	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円				38,000				
	その他	千円								
	一般財源	千円			0	100	22,000			
	事業費計(A)	千円	0	0	0	38,100	22,000			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
							委託料	0	委託料	6,100
							工事請負費	32,000		
正規職員従事人数	人				2		2		2	
のべ業務時間	時間				100		200		200	
人件費計(B)	千円	0	0		382		763		763	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0		382		38,863		22,763	

事務事業名	市道道路冠水対策事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	道路建設係
-------	------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	下水道課では「公共下水道雨水幹線整備事業」として、東部6号雨水幹線等の整備を進めているが、その雨水幹線に導く側溝等が整備されていない箇所では道路冠水や浸水被害が発生している。その対策として、雨水幹線整備と連携を図った道路側溝等の整備が急務である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年、土地利用の変化やゲリラ豪雨の発生により道路冠水や浸水被害が頻発しており、その対策が急がれている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	異常気象による大雨で、年に数回は道路冠水や床下浸水となり、市民からの被害報告や改善要望は年々増え続けている。また平成29年9月議会一般質問にて、植上町地内の道路冠水について、雨水幹線と道路側溝の整備を連携して進めると答弁している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	この事業の目的は、市街地への雨水を適切に排除するものであり、これにより住みやすい快適なまちづくりが達成できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	自然現象である雨水を市街地より排除し、冠水や浸水の少ない住みやすい快適なまちづくりをすることは行政の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	市街地が冠水する原因の1つである、道路側溝の排水能力不足を解消することにより、すみやすい快適なまちづくりを推進する。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	早期整備を行うことで、道路冠水や浸水被害の軽減が図られ、住みやすい快適なまちづくりにつながる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	雨水幹線整備事業では道路排水を兼ねた側溝等で断面の小さなものについては整備できないため、道路管理者による整備が必要である。市道道路改良事業は地元要望を基本とし実施しているが、今までの要望件数が多いため、事業開始までに多く年数を要しており、道路冠水や浸水被害の解消にあたっては、緊急的に望まれているため、別事業での実施が必要である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	担当職員は、必要最低限の人数であり、委託可能な業務については、外注する予定であることから、これ以上のコスト削減は見込めない。他の事業との兼ね合いや業務所要時間を余裕に取る事が出来ない状況なので、現在の所要時間は最低時間に切詰めたものであり、これ以上の短縮する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	道路は不特定多数の人が利用するものであり、公平であるため、受益者負担は求められない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	道路冠水や浸水被害箇所が解消すれば終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		田沼本町地区排水路改修事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	黒田 英文
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11282	一般	8	3	1	田沼本町地区排水路改修事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H27年度～ R2年度		根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例		実施方法		一部委託	
	事業区分		事業分類		施設等整備事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	事業区分		市長市政公約		該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
田沼本町地区の周辺地区の雨水による冠水被害を軽減するために、流下断面を大きくする排水路改修工事を実施する。 水路改修延長: L=749m 集水区域: A=11.1ha 総事業費: 241,283千円 ボックスカルバート L=246.5m U型水路 L=242.0m ヒューム管 L=108.5m 自由勾配側溝 L=134.0m 調整池 西側(50mプール利用) 1式 東側(グラウンド利用) 1式						(H30繰越) ボックスカルバート布設 (600×600) L=88.3m (R1現年) ボックスカルバート布設 (600×600) L=65.3m						
活動指標						単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)	
改修が済んだ排水路延長						m	42.1	101.9	255.5	749.0		
今年度の排水路改修延長						m	42.1	59.8	153.6	493.5		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
田沼本町地区排水路						対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込)	R3年度 (見込)
排水路の改修計画延長						m	749	749	749	749		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
田沼本町地区水路の現況河道を拡幅する排水路改修工事により、台風や集中豪雨による出水に対して水害のない排水路にする。						成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
田沼本町地区排水路の整備率						%	5.6	13.6	34.1	100.0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)												
住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。						上位成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (目標)	R3年度 (目標)
雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)						%	58.6	59.9	60.5	62.8	64.7	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	26,374		12,577		44,538		123,299		0	
	事業費計(A)	千円	26,374		12,577		44,538		123,299		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			15.工事請負費	26,374	15.工事請負費	12,577	15.工事請負費	44,538	14.工事請負費	123,299		
	正規職員従事人数	人	4		4		4		4			
のべ業務時間	時間	957		957		957		957				
人件費計(B)	千円	3,652		3,657		3,651		3,651		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	30,026		16,234		48,189		126,950		0		

事務事業名	田沼本町地区排水路改修事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	区域の上流は田沼総合運動場が整備されており、現況水路が最近の集中豪雨の度に流下能力を超え溢水をおこしている。周辺道路は冠水被害をおこし、時には数軒が床下浸水の被害を受けています。集中豪雨に対応できるよう一刻も早く整備して市民の安全を確保しなければならないため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	最近の天候不順により道路冠水が頻発しており、市街地の冠水対策が急がれている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	大雨のたびにパトロールを実施し、年に数回は道路冠水や床下浸水となり、市民からいつまでたっても改善されないと苦情を言われる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	排水路改修工事により水害が防止でき、市民の生命財産を災害(水害、土砂災害)から守ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	排水路の水害を防止し、市民の生命財産を守ることは、河川管理者の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	河川管理者として、水害を防止する目的で排水路の改修事業を実施していくものであり対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	排水路の流下能力を向上することにより、排水路の安全を確保するもので、事業の進捗により成果が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	最低限度の人員配置で実施するもので、人件費削減の余地は無い。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	本事業は排水路そのものが原因となる水害を未然に防止するための事業で、特定の受益者はいない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	水路及び調整池の整備が完了したとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事業の進捗を図ることで、成果の向上が得られる。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	事業の進捗を図るためには、事業費の増加が必須であり、事業の選択と集中が必要である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		公共下水道雨水幹線整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当	担当部	上下水道局	担当課	下水道課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					組織	担当係	下水道建設係	担当課長名	青木 茂良
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	18192	下水道事業	3	1	1	公共下水道雨水幹線整備事業					
	事業区分		事業区分		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和46年度～	年度	根拠法令等	下水道法 都市計画法		任意的事業・義務的事業		任意的事業	
	実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		実施方法		一部委託		
	市長市政公約		該当なし		該当なし		施設等整備事業		施設等整備事業		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
本事業は、降雨による浸水被害の解消・防止を図るため、雨水幹線を整備することを目標としています。実施にあたっては、下水道法等関係法令による事業認可等を取得し、その区域内の幹線整備を実施します。	・平成30年度の明許繰越により、東部9号雨水幹線L=125.7m(幹線L=4.7m、枝幹線L=121.0m)、東部14号雨水幹線L=163.7m(幹線L=138.1m枝幹線L=25.6m)施工実施。 ・令和元年度事業として、東部6号雨水幹線L=41.5m、道路冠水対策事業として、東部6号上流部を175.7m施工実施。 ・東部9号雨水枝幹線築造工事L=36.1mおよび東部14号雨水枝幹線築造工事L=138.4mを繰越工事としました。(令和2年度への繰越額: 56,150千円) ・事業計画区域を県と協議し、1,043haを1,068ha(25ha 秋山川第4排水区の一部を追加)に変更実施。					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
公共下水道により整備した雨水幹線延長(単年度)	m	362	375	184	50	150
他事業により整備した雨水幹線延長(単年度)	m	0	0	0	0	0

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

公共下水道全体計画の内、雨水幹線に関する事業認可等を取得した区域内の土地。	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	全体計画雨水幹線延長	m	28,532	28,532	28,532	28,532	28,532
	事業認可雨水幹線延長	m	15,350	15,350	17,340	17,340	17,340

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

雨水幹線が整備された区域とする。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	公共下水道により整備した総延長(累計)	m	12,053	12,428	12,612	13,260	13,802
	他事業により整備した総延長(累計)	m	4,658	4,658	4,658	4,658	4,658

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)	%	58.6	59.9	60.5	62.8	64.7

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)			
	国庫支出金	千円	58,990	66,793	68,524	30,000	45,000			
	県支出金	千円								
	地方債	千円	109,200	133,200	139,800	67,800	55,900			
	その他一般会計	千円	16,290	12,842	14,586	20,200	27,400			
	その他	千円								
	一般財源	千円	6,068	5,327	9,735					
	事業費計(A)	千円	190,548	218,162	232,645	118,000	128,300			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			旅費・需用費	0	旅費・需用費	0	旅費・需用費	0	旅費・需用費	0
			役務費・使用料	0	役務費・使用料	0	役務費・使用料	0	役務費・使用料	0
			委託料	11,221	委託料	18,446	委託料	7,744	委託料	57,000
			工事請負費	142,352	工事請負費	176,647	工事請負費	212,485	工事請負費	58,000
公有財産購入費			0	公有財産購入費	0	公有財産購入費	0	公有財産購入費	0	
補償、賠償金	36,975	補償、賠償金	23,069	補償、賠償金	12,416	補償、賠償金	3,000			
補償、賠償金										
人件費	人	2	2	2	2	2				
人件費の内訳	時間	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000				
人件費計(B)	千円	15,264	15,284	15,260	15,260	15,260				
トータルコスト(A)+(B)	千円	205,812	233,446	247,905	133,260	143,560				

事務事業名	公共下水道雨水幹線整備事業	担当部	上下水道局	担当課	下水道課	担当係	下水道建設係
-------	---------------	-----	-------	-----	------	-----	--------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	土地利用の形態が都市化等により変化したことから、浸水被害の発生が見られるようになったことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	土地利用の変化は進んでおり、被害の発生が顕著になってきている。また、ゲリラ豪雨の発生により、浸水区域の拡大や被害の発生していなかった区域でも見られるようになってきた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	土地利用の変化は進んでおり、被害の発生が顕著になってきている。また、ゲリラ豪雨の発生により、浸水区域の拡大や、被害の発生していなかった区域でも見られるようになってきたことから、市民や議会より整備実施の要望がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	幹線の整備により浸水被害が解消することは、快適で質の高い住環境づくりにつながるものであるから。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	社会資本の一部である下水道の内、雨水幹線の整備は快適で質の高い住環境の整備に貢献する、地方公共団体にとって重要な事業であるから。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	下水道事業の実施には事業認可が必要であり、整備を実施して浸水被害を解消することが、住みやすいまちづくりに貢献するから。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	雨水幹線の整備は、緊急性や整備効果を勘案しながら進めているが、近年、ゲリラ豪雨が多発するようになり、浸水や道路冠水被害が拡大している現状があることから、人や予算を増やし、積極的に整備を進めていく必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 市道道路冠水対策事業 雨水幹線を整備しただけでは浸水対策・道路冠水対策としては不十分である。雨水幹線は流末河川までの幹線的な排水路ではあるが、枝としての道路側溝網の整備・機能強化なくしては、せっかくの雨水幹線整備の効果が活かされない。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費は補助事業の対象とするため基準・規格に沿っており、また、人件費は一部委託により削減を図っているが、工事実施に伴い住民対応が必要となることや事務処理時期が集中する状況で複数年にわたる人員削減が実施されているから。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	本事業の対象地は、現に浸水や道路冠水による被害を受けている箇所であり、被害解消や軽減のための事業であることから、受益者負担を求めることはできない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	公共下水道全体計画に定められた雨水幹線の整備が完了すれば事業終了となるが、浸水や道路冠水の被害がなくなった時点でも事業休止が可能である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		一般排水路整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	河川係		担当課長名	黒田 英文
	施策	1 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 雨水排水路の整備					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11269	一般	8	3	1	一般排水路整備事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令等	佐野市公共物管理条例					
	事業区分		実施方法		一部の事業						
	事業区分		事業分類		施設等整備事業						
事業区分		リーディングプロジェクト		該当なし							
事業区分		市長市政公約		該当なし							

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)						
調整池の維持管理 一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理を行う。	調整池の維持管理 幹線排水路スクリーンの維持管理 一般排水路、一般下水排水路及び幹線排水路の維持管理 水路の工事、小破修繕、除草、浚渫、清掃等 (修繕料 7,776千円、委託料 15,696千円、工事請負費 9,807千円など事業費33,883千円を実施した。)						
	活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	調整池清掃	箇所	9	9	9	9	12
	幹線排水路スクリーン清掃	箇所	11	12	12	13	13
	危険箇所の小破修繕	件	27	28	24	23	23

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

調整池 一般排水路、一般下水排水路 幹線排水路	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	調整池数	箇所	18	18	19	20	21
	排水路スクリーン設置箇所数	箇所	11	12	12	13	13
	排水路延長	Km	不明	不明	不明	不明	不明

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

排水路を適切に管理することにより排水を速やかに河川等に流下させる。 調整池を適切に管理することで、設置の目的どおりに放流先の河川への流入量を調整する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	調整池等清掃実施の割合	%	50.0	50.0	47.4	45.0	57.1
	幹線排水路スクリーン清掃実施の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

住環境の安全性を高めるため、雨水排水路の整備を推進する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	雨水幹線排水路の整備率(整備済延長/計画総延長)	%	58.6	59.9	60.5	62.8	64.7

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)		H30年度(実績)		R1年度(実績)		R2年度(目標)		R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円			38,484		33,883		40,420		40,420	
	事業費計(A)	千円	0		38,484		33,883		40,420		40,420	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			11.需用費	10,568	11.需用費	10,498	11.需用費	7,875	10.需用費	9,449	10.需用費	9,449
			12.役務費	65	12.役務費	65	12.役務費	65	11.役務費	69	11.役務費	69
13.委託料			17,144	13.委託料	16,601	13.委託料	15,696	12.委託料	19,068	12.委託料	19,068	
15.工事請負費			11,308	15.工事請負費	10,627	15.工事請負費	9,807	14.工事請負費	11,385	14.工事請負費	11,385	
16.原材料費			352	16.原材料費	693	16.原材料費	440	15.原材料費	449	15.原材料費	449	
22.補償、補填及び賠償金			522									
正職員従事人数	人	4		4		4		5		5		
のべ業務時間	時間	1,206		1,206		1,206		1,206		1,206		
人件費計(B)	千円	4,602		4,608		4,601		4,601		4,601		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,602		43,092		38,484		45,021		45,021		

事務事業名	一般排水路整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	開始時期は、不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	一般下水排水路について、建設年度・構造等の全容が把握できない中、施設の老朽化が著しい。社会情勢の変化に伴い、これまで地域で行われていた社会資本の管理を行政に依存する傾向が著しく強くなってきている。 土地区画整理事業事業、北関道建設等により管理する調整池が増えた。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	住民が設置した下水管(雑排水管)等の維持管理が出来なくなっており、市で管理してほしいとの要望が多い。 除草の要望が急増している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	適正な維持管理により、快適で質の高い住環境を創出する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	内水排除に係る排水路施設等の適正な維持管理は市の責務である。既に、市民に出来ることは市民に委ねている。(草刈り、土砂上げ等)
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	雨水排水施設等を適切に維持管理する事業で、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	必要最小限の管理で機能を保全している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	都市化が進み、住民の環境に対しての要求が高くなり、事務量も増加している中、必要最低限の対応しかとれず、これ以上の削減は不可能である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	快適で質の高い住環境を市民に提供することは市の責務である。受益者は市民であり、特定の個人に受益者負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
快適で質の高い住環境を維持するための事業であり、休止、廃止、終了となることはない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					

事務事業名		一般排水路清掃支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				担当係	管理係	担当課長名	黒田 英文	
	施策	1	快適で質の高い住環境の整備				新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	3	雨水排水路の整備				実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
	11271	一般	8	3	1	一般排水路清掃支援事業	任意的事業・義務的事业	任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和30年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市下水道清掃補助金 交付要領	実施方法	一部委託			
							事業分類	支援事業			
							リーディングプロジェクト	該当なし			
							市長市政公約	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和元年度実績(令和元年度に行った主な活動内容)					
一般排水路を清掃する下水道組合に補助金を支出して支援する。また、2本の幹線排水路の清掃を、業務委託により、実施する。 ※下水道組合とは、下水道清掃を実施する組合及び町会である。	(市の活動) 一般排水路を清掃する下水組合に補助金を出して支援する。また、2本の幹線排水路の清掃を業務委託により実施する。 (下水道組合) 一般排水路の清掃活動 年1回から年2回					
活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
清掃幹線排水路	m	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

下水道組合	対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(見込)	R3年度(見込)
	下水道組合数	団体	22	21	21	21	21

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

下水道組合を支援することにより、その団体による自主的な一般排水路の清掃を促進する。	成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	清掃回数	回	42	41	43	43	43

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

一般排水路を適切に管理することにより、雨水幹線排水路の集水能力が高まり、浸水対策に資する。	上位成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)
	雨水幹線排水路の整備率	%	59.9	59.9	60.5	62.8	64.7

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R1年度(実績)	R2年度(目標)	R3年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	960	942	885	968	968	
	事業費計(A)	千円	960	942	885	968	968	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			業務委託料	267	業務委託料	268	業務委託料	268
			補助金	693	補助金	674	補助金	700
人件費	人	6	6	6	6	6		
正規職員従事人数のべ業務時間	時間	300	300	300	300	300		
人件費計(B)	千円	1,145	1,146	1,145	1,145	1,145		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,105	2,088	2,030	2,113	2,113		

事務事業名	一般排水路清掃支援事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	管理係
-------	-------------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和30年頃。きっかけは不明。開始当時の衛生課から下水道課へ事業が移管され、その後、平成20年度に道路河川課へ事業が移管された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	地域コミュニティの低下、組合員の高齢化等により、清掃活動が、年々困難になってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により、対象外。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	一般排水路を自主的に清掃する団体を支援することは、結果として雨水幹線排水路の集水能力を高め、浸水被害が低減されるため、目的と政策体系は結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	管理者が実施すべき排水路の清掃を、利用者である市民が自主的に行っており、その方々を行政が支援することは、市民との協働であり、妥当性がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	一般排水路の利用者である下水組合が、自主的に実施する清掃活動を促進するために支援することから、対象と意図について、見直す必要性はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	令和1年度において、下水組合が自主的に延38,798mの一般排水路の清掃をしたことから、事務事業の成果は出ている。しかしながら、下水組合員の高齢化や地域離れにより、清掃活動が困難になってきていることから、これ以上の成果向上を見込むことは、困難である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	理由・改善案	類似事務事業名 佐野市道路愛護会支援事業 佐野市道路愛護会支援事業 類似事務事業には、上部団体である栃木県道路愛護会連合会があり、活動の内容が県内統一されているため、本事業と統合・連携はできない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	補助金検討委員会により、その金額について見直し(削減・上限設定等)の意見が提出され、平成24年度・平成25年度と段階的に補助金額を引き下げる見直しを実施した。したがって、これ以上削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	この事務事業の結果として、浸水被害が低減されることから、その受益者は不特定多数の市民であり、受益者が特定されないため、負担を求めることができない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	雨水幹線排水路及び公共下水道の整備が完了し、一般下水排水路の役割が終了した時点で、本事業が終了となる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性	(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					